



あゆみこどもえんだより

令和6年12月 社会福祉法人あゆみ会 あゆみこども園 大江町大字藤田字大花 402-4
 H P アドレス <https://www.ayumi-kodomo.jp> TEL 0237(62)3220
 Mail アドレス mail@ayumi-kodomo.jp FAX 0237(62)3260

園長 小関 義人

先日は、収穫感謝のために野菜や果物のご協力ありがとうございました。子どもたちと秋の実りを神さまからの恵みと、関わってくださる方々がいることに感謝するよい機会となりました。

さて、発表会も今週末となりました。町内でインフルエンザが流行している状況にあるので、ドキドキしましたが、園の方には大きな影響が出ていないので、このまま落ち着いてほしいと願うばかりです。当日、子どもたちがどのような姿を見せてくれるか楽しみですね。子どもたちの成長した姿も一つの視点ではありますが、できた・できなかったという視点ではなく、これまで子どもたちが発表会に向けてしてきた過程を踏まえて温かく見守って頂きたいと思います。

園では、子どもたちと一緒にクリスマスツリーの飾り付けを行ったりして、アドベント（イエスさまのお誕生を待ち望む期間）を通して、キャンドルに明かりを灯し、さんびかを歌ったり牧師先生のお話を聞いたりしながら本当の意味でのクリスマスを心待ちにしていきたいと思います。



12月の予定



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 アドベントⅠ	4	5	6	7 発表会★ 
8	9 発育測定	10 アドベントⅡ	11	12 避難訓練	13	14
15	16	17 アドベントⅢ	18	19	20	21
22	23	24	25 クリスマス会 誕生会	26	27	28
29 年末休み	30 	31	1/1 年始休み	2	3	4

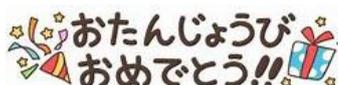
1月の行事予定

1日（水）～3日（金）
年始休み
6日（月）～10日（金）
発育測定
9日（木）避難訓練
21日（火）礼拝
28日（火）誕生会

～新しいお友だち～

ひよこぐみ
さとう ゆうくん
さとう はるひちゃん
いっぱい
 あそうぼうね！

～12月生まれのお友だち～
ながおか ゆうとくん 3さい
ほり ななせちゃん 2さい
さとう ゆうくん 1さい
さとう はるひちゃん 1さい



雪道には十分に注意しましょう！！

- ・冬は、いつもより移動に時間がかかります。心に余裕をもって、「急がず、焦らず」を心がけましょう。
- ・車は急に止まれないので、飛び出しには注意しましょう。急ぐことで、転倒してケガをするリスクも伴います。
- ・園の近くまで来たら、車の速度を減速して、歩行者や駐車場に出入りする車との事故やケガなどのトラブルが起らないよう、譲り合いを心がけましょう。



【収穫感謝会】

野菜や果物に、見て・触れて・味わう貴重な体験をすることができました。
ご協力ありがとうございました。



反抗期と心の発達

子どもの「イヤ」は、自立心の芽生えです

今までおとなしくいうことを聞いていた子どもが、急に「いや」「だめ」「自分でする」などと突然言い張るようになる第一次反抗期。親や周囲の大人は驚きあわてます。

でも、この自己主張も子どもの成長には欠かせない重要なステップです。このころは言葉やからだの発達をベースに知的好奇心がますます高まって、なんでも自分でやってみようという意欲が出てきます。こうした心とからだの発達から、自立心が芽生えて「ぼくはこうしたいんだ」という意思を、強く自己主張するようになるのです。

この時期はまた、親や大人たちの干渉を嫌いながらも、反抗と甘えを繰り返すのもひとつの特徴です。

「抑えつけ」は、逆効果です

2、3歳児では、まだ相手の立場を考えることができませんし、感情をコントロールすることも未熟です。

さらに言葉でうまく表現できないもどかしさから、かんしゃくを起こしたり、大人には理解しにくい理屈をこねることが多いものです。

それが大人たちには「反発」「反抗」に見えてしまうのです。このままではしつけにならないと思い、「イヤとはなんですか！」と頭ごなしに叱ったり、有無をいわせず上から押しつけようとすると、ますます子どもの反発は強まって、大人も子どもも疲れるばかりです。

反抗期は成長の証なのです

つまり、大人の「反抗期」に対するとらえ方によって、子どもの反発や親子の衝突がひどくなるのです。親がこれまで通りに指図して、それに従う「よい子」を求めていると、実際の子どものギャップに親も子どもも苦しまなくてはなりません。反抗期を成長の証として、カリカリせずにおおらかな気持ちで受けとめてあげてほしいと思います。大人が頭ごなしに方向づけをするのではなく、「どっちがいい？」と選ばせて、子どもが自分で決めたとおぼせるような形で上手に誘導してあげましょう。大人の対応次第で、子どもの反発は小さくなります。

反抗期は、親から見ると子どもがどんどん悪い方向に向かっていっているように見えます。また、これまでしてきたしつけが「逆戻り」をしてしまっているように感じられるかもしれません。けれども、4歳児くらいになると周囲の気持ちもわかるようになって、突然とっていいくらい、子どもは変化して反抗期を終えます。

嵐のような2年間。この発達の節目を、走り高跳びに例えてみましょう。高くジャンプをするには、後ろに下がって助走しなければなりません。子どもが今「自立」という大きなジャンプをするために助走しているのと考えれば、子どもを見る目も変わってくるのではないのでしょうか。

知れば楽しいおもしろい赤ちゃん学的保育入門 小西行郎著書～一部抜粋～

